

大久保 帝二 議員



問 少子化に対応した学校教育について

答 学習意欲の向上を図るための教育環境を充実していく

少子化により、本町でも学校の統合問題を耳にしますが。

問 最近の県内での小・中学校の統廃合は。

教育次長 河内町では、平成18年10月に小・中学校統合検討委員会を設置し、平成29年4月に東西の中学校2校を町中央に新設校として統合し、そこへ、平成30年4月に小学校3校を統合しました。検討委員会設置から12年、河内町の小・中学校が1つとなって「河内町立かわち学園」が町中央に開校しました。

通学では、小学校は2キロ、中学校では5キロを超える児童・生徒を対象に約500人中6割

がスクールバスで通学しています。

問 教育環境の充実について。

教育長 教育環境には、校舎等の建物、机、パソコンなどの物的環境と教科、領域を学び合う人的環境の充実があります。五霞町憲章にある「人を愛し、自然を愛し、郷土を愛しましょう」

を保護者、地域の皆様のご支援を得ながら、郷土愛に満ちた教育の充実に努めています。

町長 本町でも、学校小規模化に伴う問題点を正面から向き合い、地域の皆さんと共に、この課題を分析し、共有し合っ、子どもたちを健やかに育ていく最善の選択をしていきたいと考えています。

町内における小・中学校の生徒数の推移 (人)

	東小学校	西小学校	五霞中学校	計
平成26年	231	143	249	623
平成30年	219	146	183	548
平成36年 (見込み)	170	121	179	470

問 茨城ゆめ国体プレウオークの継続は

答 プレウオークのノウハウを活かし大会を継続していく

問 茨城国体のプレウオークの実績は。

教育次長 ウォーキングプレ大会は、昨年9月に実施しました。小・中学生はウォーキング及びボランティアとして参加。一般参加者116人。当日は800人が参加しました。五霞町では、国体の開催を機に立ち上げたウォーキング協会（五霞歩楽里会）の活動を継続し、国体開催のノウハウを活かして町にウォーキングを根付かせていければと考えています。

